

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 14 日作成)

委員会名	火害診断補修小委員会	主 査 名：吉田 正友
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火本委員会	委員長名：室崎 益輝
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>(設置目的): 学会として社会的に強く要望されている火害診断及び補修・補強方法の提案を行うため、研究活動の目的を限定し、集中的に作業を進めることで、耐火性小委員会より名称を変更し、2001 年度に設置した。</p> <p>(各年度活動計画) 2001 年度：火害診断及び補修法の再検討 (RC、S 造)</p> <p>2002 年度：火害診断及び補修法の確立 (RC、S 造)</p> <p>2003 年度：木造等、各種構造の火害診断・補修法の検討</p> <p>2004 年度：木造等、各種構造の火害診断・補修法の提案</p>	
委員構成 (委員名(所属))	吉田正友(日本建築総合試験所) 池田憲一(清水建設) 宮本圭一(鹿島建設) 森田武(清水建設) 上杉英樹(千葉大学) 大橋宏和(竹中工務店) 小林秀雄(日本設計) 杉田和直(岐阜県立国際たくみアカデミー職業能力開発短期大学校) 鈴木淳一(鈴木建築測量設計事務所) 鈴木弘之(筑波大学) 高橋一郎(フジタ) 棚池裕(建材試験センター) 長尾覚博(大林組) 西垣太郎(大成建設) 三上藤美(東邦アーステック)	
設置 WG (WG 名:目的)	コンクリート系 WG (目的) RC 造の火害診断及び補修・補強方法の見直しを行う。 鋼系 WG (目的) 鋼構造の火害診断及び補修・補強方法の見直しを行う。	
2004 年度予算	166,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	開催日：2004 年 4 月 5 日、5 月 28 日、7 月 9 日、9 月 10 日、10 月 26 日、12 月 3 日、2005 年 2 月 18 日 参加人数：各委員会平均約 10 名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>火害診断補修小委員会として、2004 年 3 月に、RC 造及び S 造に関し、「建物の火害診断および補修・補強方法」と題して、出版と同時に講習会を開催した。建築技術者をはじめ、各方面の方々に多数参加を頂き、成功裡に終了した。出版とほぼ同時に売り切れ、現在、在庫切れの状態となっている。早急に改訂版を発行したいと考えたが、検討の結果、建築技術者をはじめ、多方面の方々から、指針化を望む声が多く、指針として発行することとした。指針化に向けて、検討を積み重ねた。これまで、小委員会の成果をホームページ、大会等で、随時公表してきた。</p> <p>委員会 HP アドレス：http://news-sv.aij.or.jp/bouka/aij_bk/6/</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>当初計画していた「木造等、各種構造の火害診断・補修法の検討」は次年度以降に繰り越さざるを得ない状況にある。しかし、RC 造及び S 造に関して、さらにステップアップした指針化に向けて検討を重ねてきた。今年度の目標の達成度は概ね 80%程度と考えられる。</p>
その他評価すべき事項	特になし。